

# 長崎県松浦市との職員交流終了…

本年4月より半年間、長崎県松浦市に職員派遣交流で赴任しておりました産業課商工観光係の岩坪健太郎と申します。

この半年間は、見るものの、体験することすべてが新鮮で今まで自分のなかにあった価値観を変えるところにも、見聞を広める機会となりました。

赴任当初は、気候は勿論のこと、言葉や文化、生活など様々なことが北海道と異なり、驚くことや困惑することが多々あり慣れない生活が続ききました。



▲松浦市で体験型旅行事業を行う岩坪主事補（右）  
【長崎新聞社提供】

しかし、全く知らない土地だからこそその見方で松浦市をみつめることができ、今まで自分が考えもしなかったことや、自分の仕事の仕方などを見直す機会、松浦市の方が当たり前だと思っていたことを考える場面もできました。

自分は福島町と同様に松浦市でもイベント関係の業務を担当させていただき、準備の仕方やイベント内容などを福島町と比較して携わらせていただくことができ、参考とすることが多くありました。



▲不老山総合公園

半年間、松浦市の職員、関係団体の方、市民の皆様にお世話になりました。なんとか業務や生活を行うことができ、公私ともに有意義な時間を過ごすことができました。

松浦市の皆様とこうして繋がることのできた交流を、今後も継続してより密接なものとして互いのまちの発展となる関係を続けていく起点となればと感じています。



▲ピチピチした活きの良い、松浦市の特産品「車海老」

最後になりますが、この半年間の経験を活かして、今後この福島町で町のためになる仕事を行っていきたいと思いますので、町民の皆様方今後ともよろしくお願ひします。



▲松浦市の職員の皆様と岩坪主事補（上段中央）



▲鮮度抜群、松浦市特産品「アジの刺身」